

## News Release

2014年1月29日

マルホ株式会社

報道関係各位

### アトピー性皮膚炎治療剤 「プロトピック®軟膏」の国内独占販売について

マルホ株式会社(本社:大阪府大阪市北区、代表取締役社長:高木幸一、以下、マルホ)は、アステラス製薬株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:畑中好彦、以下、アステラス製薬)が製造販売しているアトピー性皮膚炎治療剤「プロトピック®軟膏 0.1%」及び「プロトピック®軟膏 0.03%小児用」(一般名:タクロリムス水和物、以下、プロトピック®軟膏)の日本における販売権を2014年4月1日に継承いたしますので、お知らせいたします。

プロトピック®軟膏は抗炎症作用を示すアトピー性皮膚炎治療剤として、1999年6月に世界に先駆けて日本で承認され、同年11月に藤沢薬品工業(現アステラス製薬)から発売されました。現在、世界60カ国以上で使用されています。マルホは、2011年4月より本剤の国内におけるプロモーション活動を受託しています。

患者調査データベース(PatientsMap 2013年版)によると、国内のアトピー性皮膚炎の診療患者数は、172万人<sup>1</sup>と推計されています。特に0歳から5歳、21歳から25歳<sup>2</sup>に患者さんが多くみられます。小児においては、アトピー性皮膚炎のコントロールがアレルギー性鼻炎や喘息の発症抑制につながる<sup>3</sup>ことが明らかになっており、アレルギー性疾患の予防としても適切なケアが必要になります。また、生活環境の変化などで親元を離れてセルフケアが始まる20代、30代に重症化の増加傾向<sup>4</sup>があり、入眠困難や見た目を気にして外出を控えるなど、QOLが低下して精神的な不調が助長されるケースもあります。

アトピー性皮膚炎は、アレルギー的側面と皮膚のバリア機能低下の側面を有し、治療においては抗炎症剤による炎症抑制と保湿剤によるスキンケアが中心となっています。マルホがプロトピック®軟膏を販売することで、弊社製品である「ヒルドイド®」\*と併せたアトピー性皮膚炎ガイドラインに基づいた幅広い治療提案が推進できます。

マルホ国内事業統括取締役執行役員の石丸靖之は、「マルホのポートフォリオにアトピー性皮膚炎治療剤であるプロトピック®軟膏が加わることで、皮膚科領域における当社の貢献をより広げる



ことができると確信しています。この領域のリーディングカンパニーである強みをさらに活用し、プロトピック<sup>®</sup>軟膏の適正使用に関する情報提供に一層注力してまいります。」と述べています。

今後、マルホおよびアステラス製薬は、マルホによるプロトピック<sup>®</sup>軟膏の製品流通、製品情報の提供・収集活動が円滑に開始できるよう、両社で協力して万全の体制を構築してまいります。

\*「ヒルドイド<sup>®</sup>」とは、弊社が製造販売する血行促進・皮膚保湿剤「ヒルドイド<sup>®</sup>クリーム0.3%」、「ヒルドイド<sup>®</sup>ソフト軟膏0.3%」および「ヒルドイド<sup>®</sup>ローション0.3%」を示します。

以上

#### 出典

- <sup>1</sup> PatientsMap; 2万人以上の医師から、希少疾患を含む422疾患(2013年度版)について診療患者数を調査したデータベース (株)社会情報サービス, エムスリー(株)
- <sup>2</sup> 皮膚科受診患者の多施設横断全国調査(2007)日本皮膚科学会ガイドライン「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン 2009」より
- <sup>3</sup> 厚生労働科学研究費補助金(免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業)総括研究報告書(平成23年度)「アレルギー疾患の予後改善を目指した自己管理および生活環境改善に資する治療戦略の確立に関する研究」 <http://www.allergy.go.jp/Research/H23/index.html>
- <sup>4</sup> 一般社団法人日本アレルギー学会「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2012」

#### プロトピック<sup>®</sup>軟膏について

プロトピック(一般名:タクロリムス)はステロイド外用剤とは異なる作用機序を有するアトピー性皮膚炎治療薬です。1999年に「プロトピック<sup>®</sup>軟膏0.1%」、2003年に「プロトピック<sup>®</sup>軟膏0.03%小児用」が承認され、世界60カ国以上で使用されています。

#### マルホ株式会社について

マルホ株式会社は大阪市北区に本社を置く、医療用医薬品の研究・開発・製造・販売を行う製薬企業です。創業は1915年、従業員数は1,223人(2013年9月末)です。2013年9月期の総売上高は630億9千8百万円でした。“Excellence in Dermatology”を長期ビジョンとして掲げ、皮膚科学領域での卓越した貢献を目指しています。国内の研究開発拠点を京都市、生産拠点を彦根市に配し、また、欧米に現地法人を設立してグローバルの開発体制を整えています。マルホ株式会社についての詳細は[www.maruho.co.jp](http://www.maruho.co.jp)をご覧ください。

#### 本件に関する問い合わせ先

マルホ株式会社 広報部

杉本美麗

Tel: 06-6371-8831 Fax: 06-6371-8679

Email: [kouhou@mii.maruho.co.jp](mailto:kouhou@mii.maruho.co.jp)